

## 工場夜景クルージングが人気です

編集委員

最近、また工場夜景が話題になってきています。2008年に川崎で工場夜景ブームが起こってから、全国各地で工場夜景ツアーが組まれるほどに人気の夜景となっています。



12月に横浜の象の鼻栈橋よりクルージング船に乗ってきました。

象の鼻栈橋を18時出船です。

利用船舶は高速観光船 YUME-HAMA 号(トイレ付、冷暖房完備) 双胴船なので揺れも少ないです。

1Fは約30席のサロン型客席と後部屋根付きデッキ、2Fは約50席のオープンデッキがあり定員80名。安全対策で乗船前にはライフジャケットの着用と操作の説明があります。

定刻前にほぼ満席でしたが、2Fの前から2列目の席に座れました。この日は風もなく、海も穏やかでした。今はコロナ対策で50名に制限されています。

見所ポイントでは、船は速度を緩め、行きは京浜運河の南側のポイントです。最初は扇島パワーです。女性ガイドによる詳しい説明があり感心しました。各ポイントについては、ガイドが細かく調べて確認しているそうです。続いて、東京ガス、JFE スチール、JERA 発電所、EOT、運河の突き当たりのエネオス川崎製油所のフレアスタックの前でしばし停船。

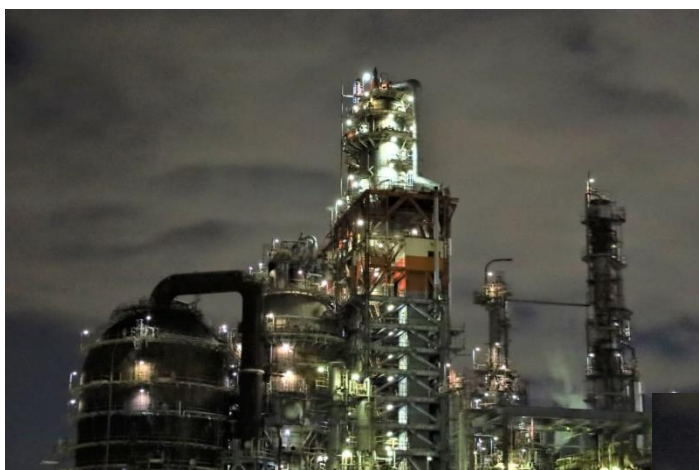
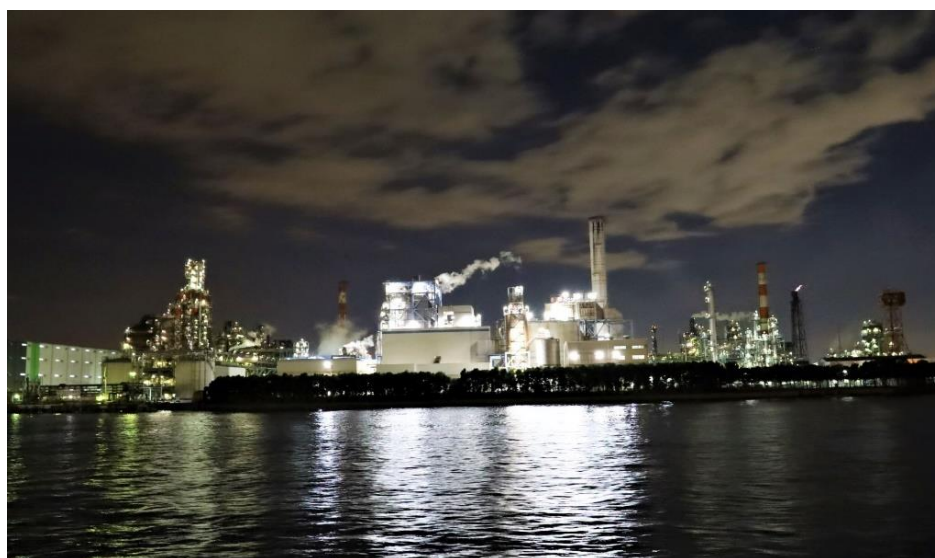
その後、還りのルートで運河北側寄りの航行です。



塩浜運河に入り、このツアー最大の目玉である東亜石油に近づきます。ガイドによる説明ではフレキシコーカー（FLG）についてはかなり詳しく説明されていました。FLGはこのツアー最大の目玉となっており、川崎のモン・サン・ミシェルと呼ばれているそうです。

さらに水江運河に入り、フレアースタックの真下でしばし停船しての鑑賞です。フレアースタックはツアーでも人気があります。この夜はフレアースタックは大きくなかったですが、アトマイジングスチームの音の息つきが大きく迫力があり、皆歓声をあげていました。個人的には水江運河では、懐かしいにおいが漂っているのを感じました。

そのあと、川崎天然ガス発電所、日清製粉、海芝浦駅、JERA横浜火力を経て、象の鼻栈橋に戻って来ました。90分の工場夜景クルージング、あらためて工場夜景での東亜石油の人気を感じたツアーでした。興味のある方は出かけてみてください。出発地も各地からあり、色んなツアー会社で運行しています。ただし冬場は防寒対策が必須です。



ツアー会社 HP の写真

